

新居浜

銅山史と自然の散歩道

住友家による元禄4年(1691)の別子銅山開坑以来、数々の住友グループ企業が生まれた新居浜市は、今も四国屈指の工業都市として躍進しています。別子銅山が休山して30余年。江戸、明治、大正、昭和の4時代を伝える偉大な産業・文化遺産群が、今、注目を集めています。



飲喜坑



マイントピア別子トロッコ



マイントピア別子

★①マイントピア別子
別子銅山の採鉱本部が置かれていた端出場の地に、産業遺産を活かしてつくられた鉱山のテーマパーク。鉱山鉄道や観光坑道など、別子銅山の歴史が分かりやすく紹介されています。
■アクセス/JR新居浜駅からタクシーまたはバス15分
■休館日/2月の第3週(1週間程度)

★②別子銅山記念館
別子銅山の意義を後世に伝えるため、1975年に建設された鉱山資料館。銅山付近の模型をはじめ、銅山関係の資料が多数展示されています。屋根にはサツキが植えられ、5月にはピンクの花が満開に咲きそります。
■アクセス/JR新居浜駅からタクシー10分
■休館日/月曜、国民の祝日



別子銅山記念館



別子銅山記念館



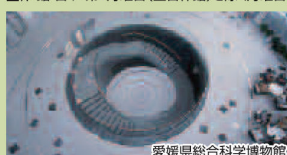
広瀬歴史記念館



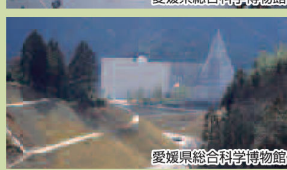
広瀬歴史記念館

★③広瀬歴史記念館
日本の近代産業を育成した広瀬幸平の足跡を通して、企業城下町新居浜の生い立ちと日本の近代化の歩みをたどる施設。別子銅山を支えた人たちの理念や人となりが直に伝わってくる。展示館と明治時代に建築された旧広瀬邸(国指定重要文化財)で構成されている。
■アクセス/JR新居浜駅からタクシー10分
■休館日/月曜、国民の祝日

★④愛媛県総合科学博物館
愛媛県立の博物館。特にプラネタリウムの直径30mもあるドームスクリーンは世界最大としてギネスブックに登録されています。郷土の自然や産業、科学の歴史等を遊びの要素を取り入れながら学ぶことができ、子どもも楽しみながら体験できるように工夫されています。
■アクセス/JR新居浜駅からタクシー15分
■休館日/第1月曜日(翌日休館)を除く月曜日



愛媛県総合科学博物館



愛媛県総合科学博物館



新居浜まちなみ歩き

新居浜と言えば銅山の街。街の中をふらっと歩けばこんなにも魅力的な顔がちらほら顔をのぞかせます。



★⑥住友化学(株)愛媛工場歴史資料館



★⑥住友倶楽部



★⑦別子銅山鉄道旧星越駅舎



★新居浜選鉱場



★⑧口屋跡・松

ちょっと足音をのぼせば 新居浜のルーツ「別子古道」を歩く

明治の最盛期には4000人もの方が住んでいたと言われるこの地域には、接待館跡や酒造場跡劇場跡など、当時の人々の生活が偲ばれる遺産が森の中にひっそりと佇んでいます。

- 問合せ先
新居浜市役所経済部商工観光課
〒792-8585 新居浜市一宮町1丁目5番1号
TEL (0897) 65-1260 FAX (0897) 65-1276
http://www.city.niihama.ehime.jp/
- コインロッカー情報 新居浜駅舎
- 新居浜市観光協会
〒792-8585 新居浜市坂井町2丁目3番17号
TEL (0897) 32-4028 FAX (0897) 32-7808
http://www.niihama.info

※上記の交通機関の便数・運賃は休日・祝日のものです。(2006年2月1日現在)